

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和元年6月13日 NO. 6

文責 校長 柴崎 利美

児童数204名(6月13日現在)

運動会への思い 二作品



やり切った運動会 6年1組 谷澤にこり

私は、今年の運動会で負けてしまいましたが、心の中では完全にやり切ったと思います。近代上谷九種リレーは、パートナーの内田さんと息を合わせ、他のチームに抜かされないように走りぬきました。全員リレーでは、いっしょに走る人が全員速かったけど、差を伸ばされないようにがんばりました。紅白対抗リレーは、後ろの人に 絶対抜かされないようゴールを目指しました。結果は3位だったけど、やり切ったと思っているので良かったです。そして組体操では、遅れないように行ったり、技が失敗しそうでもがんばり、最後まで絶対にあきらめない心で無事に成功しました。他にも接待や準備などいろいろなことがありました。今まで勝ち負けで決めていたけれど、今年はやりきった心で満たされました。



学校生活、最後の運動会 6年2組 道川かれん



私は、運動会をやったことがあります。一つ目は応えん団です。精一ぱい声を出して白が勝てるようにと団長や団員のみんなとがんばってきました。そして応えん合戦の時、白組のみんなで大きな声を出し、後半戦で力を出せるように協力しました。赤組は動きが大きく、みんなにわかるようなふり付け、声でした。その応えん合戦のおかげで後半戦もしっかりと力を入られたと思います。二つ目は、全員リレーです。

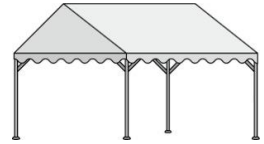
練習の時からみんなが支えてくれて、私もできる限りみんなに迷わくをかけないようにと練習をがんばってきました。本番ではできなかったけど、みんなが一歩けん命走ってくれました。だからリレーで白組の順位がよかったんだと思います。みんなには感謝してもしきれないような気持ちです。三つ目は組体操です。練習でみんな協力してできた時もあったし、本番前日には私がタワーで持ち上げられなくて失敗してしまいました。練習が終わると、いろいろな人が心配



1年 栗原彩寧さんの作品

して声をかけてくれました。本番を迎えると、失敗していた二人技もタワーもできました。やっぱり組体そうはみんなで協力してできるものなんだと実感しました。結果は白組が優勝してうれしかったけど、みんなで協力して楽しくできたのがもっとうれしかったです。

今年度は、三芳野公民館からテントを6張り借りてきました。熱中症対策です。運動会当日はそれほどの暑さではありませんでしたが、強い日差しが時折のぞく中、テントの効果は抜群でした。運営側も安心してプログラムを進められました。テントの片づけもPTA本部の方々をはじめ、多くの保護者の皆様に協力をいただいてテキパキと動くことができました。軽トラへの積み込み後、巧みに縄を扱い、びしっと締め上げた保護者の方を見て素直に感動しました。保護者の方はもちろん、地域には様々な「技」を持った方がたくさんいるのだと改めて感じました。お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。



わたしOK、あなたOK さあ歩こう！

～ ろうかは右側を歩くのがルール。

実はとても大事なことです。(6月のお話朝会から)～



おはようございます。今月は1日に運動会がありましたね。とってもいい運動会でした。改めて、みなさんの頑張りに「ありがとう」と言いたいと思います。

さて、今月の生活目標は「廊下・階段は静かに右側を歩こう」です。ちゃんと右側を歩いていますか？時々、走ってしまって先生に注意されているお友達を見かけることがあります。たまに大声で話していて、これも先生に注意されていることがあります。

けれども、上谷小ほとんどのお友達はきちんと守れていると校長先生は思っています。どうして廊下や階段では静かに右側を歩くのでしょうか？静かにするというのはわかりますよね。まだ授業(おべんきょう)が終わっていないなかったり、保健室ではいろいろな検査をやっていたり、職員室では大切な会議をしていたりすることがあるからです。では、どうして右側を歩くのでしょうか？大事なことが二つあります。

一つ目は、どこを歩いてもいいのであれば、たくさんのお友達が移動するときに、こっちに行きたい人、あっちに行きたい人でぼんぼんぶつかってしまいますよね。ケガをするお友達もでてくるかもしれません。危ないですよ。これが自動車だったらどうでしょう。大事故になってしまいます。

二つ目は歩く時、右側を歩くこと。そして、車は左側を通行すること。これが日本全国で同じルールだからです。実はイギリスという国と同じなのです。車は左側。人は右側。が原則なのです。上りと下りを分けるルールはとても大事なのです。もし、坂戸市と鶴ヶ島市で反対だったら事故だらけになってしまいます。駅でも階段を上るレーン、降りるレーンがありますね。これで誰でも安全で早く移動できるのです。… 次号へつづく

